

# 会 議 録

公開・一部公開・非公開		部 分 非公開 理 由		
文書管理責任者			保存期間 30 ( ) ・ 10 ・ 5 ・ 3 ・ 1 ・ 随	
				作成日 令和6年2月9日(金)
部長	課長	係長	係	
				記録者所属 文化・スポーツ振興課スポーツ係 職・氏名 主査 土屋 枝里香 印

会議等の名称	令和5年度 第3回東御市スポーツ推進審議会	開催日時	令和6年2月9日(金) 午後1時30分～午後2時35分
		場 所	東御市役所本館2階 全員協議会室
主催者(事務局)	東御市企画振興部文化・スポーツ振興課	司会者	企画振興部 井上部長
出席者	[委員] 会長:横田 匡俊 神津 志保美、土屋 忠寿、宮下 聡、岡田 真平 上菌 美千代、上原 真美、荒木 雅己、依田 要一 [オブザーバー] (公財) 笹川スポーツ財団 鈴木 貴大 [事務局] 企画振興部長 井上 祐一、スポーツ係長 所 洋一 スポーツ係 事務担当 土屋 枝里香		
欠席者	[委員] 三溝 和子、小林 経明、小菅 武志、柿沼 宏直 [アドバイザー] 武庫川女子大学教授 柳沢 和雄		
議題等の内容	・ 第1期 東御市スポーツ推進計画 後期アクションプランの状況について ・ 第2期 東御市スポーツ推進計画について		
決定事項 (要点を箇条書き)			
次回への検討事項			

討議内容及び経過	(発言者名)	発言内容(要点のみ記載)
1 開会	事務局	開会
2 会長あいさつ	会長	会長あいさつ
3 市長あいさつ 諮問	市長	市長あいさつ
4 審議事項	会長	第1期 東御市スポーツ推進計画 後期アクションプランの状況について事務局より説明願う。
(1) 第1期 東御市 スポーツ推進計画 後期アクションプラン の状況について	事務局	後期アクションプランの実施状況について説明。
	会長	ただ今の説明に対しての意見等はあるか。
(2) 第2期 東御市 スポーツ推進計画 (素案)について	会長	昨年より、数値が徐々に上がってきていることが読み取れる。実施率でみてしまうと目標2回のうち1回実施が出来ていても50%になってしまうので、きちんと数値をみることも、また、達成率だけをみて追うのではなく、実態も検証の材料とすることが大事である。
	会長	第2期 東御市スポーツ推進計画について事務局より説明願う。
	事務局	第2期 東御市スポーツ推進計画(案)について説明。
	会長	ただ今の説明に対しての意見等はあるか。
	会長	第1期のアクションプランの議題の際に、事務局からボランティア等の担い手不足の課題があった。ボランティアは、全国的にもコロナの影響で最も減少したものの一つだったと記憶されるが、オブザーバーの視点からはいかがか。
	オブザーバー	会長の言う通り、全国調査の結果でボランティアはコロナの影響で格段に減少したことが分かった。その後若干の回復傾向にはあるが、コロナ前と比べると依然として少ない。ただし、コロナがなかったとしても減少傾向にはあった。 高校生ボランティアについても、青少年の調査も全国で行ったが同じように減少傾向にある。
(2) 第2期 東御市 スポーツ推進計画 (素案)について (続き)	委員	前回の会議でも少し触れたが、スポーツへの多様な関わり方として「ささえる」の部分が、一部の文章にはあるが、スポーツの山の図にも表記されるといい。
	事務局	スポーツ推進計画が10年間という一つの括りがある中で、図表については第1期から引き継いでいければと考えている。また、ささえるという部分でボランティアが少なくなっているものもあるが、まずは地域の方々にもご協力をいただく中で、スポーツ関係団体などと協力しながら支える方々の輪を広げていきたいと考えている。その辺については、アクションプランでも審議をいただきたい。
	オブザーバー	「ささえる」という部分で、第1期のアクションプランの実績としてスポーツ人財バンクの活用や部活動指導員の人数が苦戦していると読み取れる。
	事務局	部活動の指導員は、中学生の部活動を充実させるために専門的な知識を持つ方に協力いただくものであり、部活の充実を図れる目安として目標に掲げていた。 人財バンクは、部活動の地域移行が課題となってきた中で、地域の指導者をいかに増やしていくか現状伸び悩んでいるところである。やはり、部活動の地域移行が教育部分と地域のスポーツ活動の両側面があるため、どのような携わり方が必要なのか人財バンクの方々も分かりづらい部分があるが、スポーツ振興も含め登録者増加のためにも今後PRがさらに必要だと考えている。
	会長	東御市に限らず、色々な市で課題となっている部分であるので、情報収集したり効果のある事例を調べたりしながら取り組みを考えていけたらいい。
	オブザーバー	子ども青少年の調査の中で、生徒に対する部活動の希望日数調査を行ったところ、土日は時間を減らしたいという希望が多くあった。全国的に部活動の地域移行と進める形ではあるが、地域移行を前提とせず部活動の日数や時間を調整し見直すだけでも生徒の意向や教員の働き方改革にもつながるのではないかと。いずれにしても生徒のニーズを聞いて今の部活の状態を議論する場を設けられるといい。 また、アンケート調査で今後どのようなことに力を入れてもらいたいのかという設問について、子どもたちに対する意見が多く挙がっていた。回答者の半数以上が60歳以上であるため子どもたちの意見も聞いてみないといけないが、いずれにしても東御市全体で子どもたちのスポーツ環境というのは意識の高い課題であると読み取れる。放課後活動もちろん大事であるが、子どもたちが日常を過ごす保育園幼稚園・小学校との連携も大切だと考える。
	事務局	教育委員会や総合型地域スポーツクラブでも、やはりアンケートや子どもたちの声を聞くということを行っており、主役の子どもたちがどのようなことを考えているかという部分を注視していきたい。市としては子どもたちを地域に返したいという気持ちがある。時間・空間・仲間の三間が失われつつあると言われるが、スポーツなど外遊びをできる空間のためには地域の方々の見守りが必要不可欠であると考えている。
	委員	市長が笹川スポーツ財団の理事長と対談をしたという動画を見た。その中で、スポーツ関係者の連携体系が必要、それぞれの団体や部署でそれぞれ頑張っていると思うがそれを連携できるようにするための工夫があるといいという話があった。今後に向けて、その部分の具体的な連携方法についても議論できればいいと感じる。
	事務局	各々の持つ強みを生かせるよう連携できる取り組みも今後考えていきたい。
	会長	以上で審議は終了とする。
5 答申	会長	花岡市長へ答申書提出
	市長	答申に対する御礼
6 その他	事務局	その他として次回の開催日について説明。
7 閉会	事務局	閉会